



りんどう  
L.C.通信  
かわら版

【美女揃いの「福岡那の香L.C.」  
十名来訪】

五月十四日の第一例会は、りんどうL.C.始まって以来の華やいだ例会ではなかったろうか。なにせ博多の美人ライオンズ会員が十名もビジターとして例会へ参列されたからである。

品のないことを云えば、「博多どんたくの花電車」みたいな存在であったが、それでも、つかの間のいい思いをしたわけであった。いい夢はながくは続か

平成16年  
5月28日号  
通巻第22号  
PR委員会発行



ない。又、彼女たちが再訪してくれることをアテにしないで待つておこう。

【7L.C.合同誌6月1日発行】

5月10日、7クラブのPR委員が集り、第2回の編集会議を行った。内容校正となると、どのクラブも大変の様だ。全会員の名簿は生年月日を省いて掲載することになった。

【初夏の風に誘われて】

5月9日曜日、写真愛好会は文化センターのバラの撮影会を催した。立派なバラ園だったが、満開には少し期を失した。それでも、曇り日でバラを撮るのには最高のシャッターチャンスだった。(その出来は

えは後日・・・)途中、雨となり竹林の中の「地鶏屋」で写真談義花より団子と又なつてしまった。酒の飲みすぎには注意しよう・・・。

【L.筒井が西日本新聞

「ひと」に掲載される】

5月9日朝刊に「焼き鳥日本一の街・久留米」を仕掛ける筒井博文さんと大々的に紹介されている。紙面の都合で詳しくお知らせできないが次回の会報誌でご紹介致します。

久留米焼き鳥マップ2003



### 犬声狎語

今、若い人の間では韓国ブームの様だ。テレビ「冬のソナタ」は大人気である。全国の高校でハンゲル語の教育をやっている学校が多い。日本の文化が年々韓国に受け入れられる様になってきた。と、思いきや三月初の韓国学生会は「反日法」を可決成立させた。日本統治時代(1910~1945)に日本に協力して朝鮮の開化発展に尽くした「裏切り者」を狩り出して罰するのが狙いだというものである。今更なんで・・・韓国には「従兄弟が田園を買っても胃が痛む」という諺があるが、まさに、

嫉妬の塊のような国民である。

我々も芝生が青く見えると妬ましく疎ましい。国と国ならもつとひどい。「国家間に友好はなくとくに隣国は最も危険で厄介な存在」とは、国際関係論の定理である。イラクの行く末も混沌としてきている。戦争とはテレビや新聞が報道するとおりだ。米国や英国がイラク人をどうしようが戦闘中は生きるか死ぬかだ。平和ボケしている我々が思う様なキレイごとでは戦争での勝利は程遠い。イラクのファルージャでは米民間人の乗った車が襲われ全員が殺された。イラク人は歓声を上げて遺体を引きずり回し、切り刻み、ユーフラテス川にかかる鉄橋に遺体をロープで吊るした。双方の国にとって戦争は残酷なものだ。フセインの専制から解放されたとき、イラクの民衆は満面笑顔で博物館や病院を掠脱して歩いた。自衛隊がイラク復興の手助けに行けば地主は一億円の地代を請求してくる。混乱に乗じてシーアもスンニも政権奪取に目の色を変え、民衆は何でもい

いから金目の物を漁る。そんなイラク国家がこれからの様になっていくのか民主主義と平和国家が築けるのか興味があるところだ。